

# 春 頌

## 教祖 140 年祭活動 仕上げの年

一人でも、一回でも多くおぢばへ帰らせていただき  
教祖の親心にお応えさせていたいただきたいと存じます

支部、教区に一層のお心寄せを賜りたく

「骨身惜しまぬたすけあい」を胸に、魅力を擁した地域活動の展開を期し  
一手一つに進ませてもらったきたいと存じます  
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます

「すべて喜び すべておたすけ」

北海道教区長  
奥村尚人

# 北海道教区報

第 606 号

発行所

天理教北海道教務支庁  
札幌市中央区南 8 条西 11 丁目  
電話 011 (561) 1148  
FAX 011 (561) 1190  
E-mail: tenrikyo.hk@gmail.com  
ホームページ  
<https://tenrikyohk.com>



教祖 140 年祭

すべて喜び

すべておたすけ

教祖 140 年祭 北海道教区 スローガン

北海道教区

# 新年のご挨拶



謹んで立教 188 年の新春をお慶び申し上げます。

教祖 140 年祭に向かう年祭活動の 3 年目を迎えました。各部各会よりご挨拶申し上げます。

## 総務部



高橋 太志

今期の総務部では「企画運営課」と「おぢばがえり推進課」を設置し、各種会議の運営や輸送部の業務を含む幅広い業務に取り組んでまいりました。

また、「よろこびおたすけ委員会」、「運営委員会」、「庁舎のきしん」の運営サポートもおこなっております。

本年は教祖 140 年祭の年祭活動の 3 年目という重要な年です。

業務内容を精査し、改善すべき点を見直し、地域活動の一助となるよう尽力したいと考えております。

さらに、おぢばがえり推進の一環として、輸送部の業務についても検討・強化を図っております。



第 1 回北海道教区祭

## 集会員・喜びおたすけ委員会



笹田 道継

本年は教祖 140 年祭へ向かう締めくくりの年となりました。集会員として 3 年の任期を終えようとしています。振り返りますと、集会という言葉は分かってきたものの、何をするとおこなうか、集会という言葉を踏み入れましたが、ようやく次のような考えに至りました。

それは、教祖の教えを社会生



教区祭 教務支庁会場

活に活かしていくには、先人たちが築き上げてきた組織をどのように活用していくかを考え、またそれを時代の要請に従い改革していくにはどうしたらいいかを検討するところだということです。

昨年の 11 月の定時集会において、海外部に質問する機会を得て、コロナ禍で停滞してきた海外布教をどう建て直してゆくかということに絞って、質問をしたのですが、海外部からは与えられた予算の中でどうしたら海外にある拠点を減らすことなく、維持し発展してゆくかを実施してゆくと同時に、一例として海外伝道要員の募集の窓口を広げ、時間をかけて人材を育成していきたいという回答を得ました。

また、表統領先生もこれだけ外国人が日本に来る時代になったのだから、海外に渡っていくことばかりを考えるのではなく、国内布教の一環として海外の人達へのいかけの方法を考える時期に来ているのではないか、というようなお話しもされていきました。

このような話合いをすることによって、昔の常識にとらわれずに、様々な問題を解決してゆかすヒントが隠されているように思われます。お道は今ある面からだけ見ますと、元気がないよううにうつります。ですが、現状を打破しようとする気概を持つ限り、未来は必ずと開けてくると信じています。

先人はあの「内務省秘密訓令」を逆手にとり、海外に打って出たのです。今の我々の想像を絶する世界へと飛び込んでいって、新たな世界を押し開けたのです。このことを肝に銘じて、来年に迫った教祖 140 年祭三年千日最後の年を、勇んで歩むことを誓って、新年の挨拶とします。



本活動日

天理 一斉活動日

### 教務部



大野 成一

教務支庁内には、管内教会の書類が収められている場所があります。教会ごとに、本部への願書、申請書、届に関する書類(控)がファイルされ、棚に並べられています。いわば、各教会の歴史・履歴が保存されている大切な場所です。

私は、教区での書類作成時、ファイルを取り出し確認することが非常に多く、そうすると、その教会の設立から、現在までの活動が、よく見えてくることがあります。そこには代々受け継がれてきた精神も感じ取ることができ、そんな時、ふと、自教会の出来事を思い出したりします。

私の預かる教会は、海近くに位置しており、海抜0メートル以下の所に建っています。学生時代にはたびたび水害に遭いましたが、その中で一度「災害救

助法」が適用される被害もありました。また、ある時には、神殿改修工事と重なり、新たに張り付けられた上段板、廊下の板等が床上浸水、神殿畳は浮き上がった。教会の書類も水につかり、にじみ、紙が重なり判別不可、また紛失したものもあります。そんな願書を見ながら、不屈の精神で歩み、この教えの素晴らしさを伝えてくれたからこそ、今、私が教会長として届かないながらも、勤めさせていただいているのだと感じます。

昨年(2024)は久方ぶりに「教務研修会」を、多くの参加者のもと開催することが出来ました。

「温故知新」まさに、故きを温めて新しきを知る。そのような精神をもって、部員一同が教務という御用に勤めさせていただきますので、今年も、皆様のお力添えを心よりお願い申し上げます。



12月を除く毎月25日午後3時から、道友社社屋6階にて、代表社友会議が開催されます。まず社長挨拶に始まり、その思いを聞かせて頂き、編集出版課から新刊書等の案内、音声映像課、次に業務課からの連絡事項と続き、最後に質疑応答で終了します。時には意見もですが、真摯に応答頂き、また、その意見を受けて、新たな展開を見ることが度々ありました。

いれずにしても、社友あつての道友社の広報活動があると認識頂き、また、我々社友も責任をもって質問を発し時には意見を申ししています。



### 庶務部・代表社友



加地 道喜

支部社友の先生方へ  
本年3月で、北海道教区代表社友を、4期12年勤めさせて頂いた事になります。随分と長い期間となり、いつのまにか古参となりました。

支部社友の先生方におかれましても、昨年の記事提供にも増して、本年もさらなる記事あるいは情報の提供を強くお願い致しますと共に、まずは今、道友社より提供される広報伝道の「手段」を上手に工夫しながらご利用頂き、道の発展に寄与されたく存じます。  
本年もどうぞよろしくお願ひします。

北海道教区ホームページ画面



◎ホームページでは、教区報に未掲載の記事や投稿いただいた記事も随時掲載しています。HPの記事投稿、社友ページより投稿いただけます。



### 婦人会



奥村 とう子

婦人会は、常任委員、実行委員、しらゆき会、27支部主任と共有・協力のもと活動しております。

昨年まで、近隣支部で開催していた「27スマイルプロジェクト」ですが、本年は4月18日の教祖御誕生祭終了後(14時より)教区婦人会主催で、全支部合同「おやさとのきしん」を開催します。

教区に繋がる婦人会員の皆様とおちばで再会し、共にひのきしんできることを楽しみにしております。総会へのお誘いに併せて信者さんへも周知していただければ幸いです。

また、各支部においては、「うぼく一斉活動日」に婦人会の底力を発揮できるよう、支部内の委員長長同士の連携や例会の充実などに力を注いでいただくようお願いしております。

教祖140年祭まで残り1年となる本年も婦人会活動へのご理解ご協力をよろしくお願い致します。



支部全任研修会

### 青年会



岡田 莖貴

昨年は皆様のご支援のおかげさまをもちまして、無事「どさんこ総会」を開催することができました。誠にありがとうございました。

今期は「みなさんのおかげです」を活動方針に掲げ、毎月定例会行事「Meets」を主軸に、活動を展開してまいりました。新型コロナウイルスの感染拡大による活動自粛ムードが漂う中で行事を企画し、支部と連携しつつ運営することは挑戦と失敗の連続で、「まさに今、神様からの「ためし」が行われている」と思わざるを得ませんでした。苦しい時期や、いま行っていることが正しいのかどうかさえわからない、そんな日々を過ごしております。

そんな中ではありましたが、教区や支部の先生方、道内の方々に励ましをいただいたり、少しづつ活動が認知され、共感し合える仲間と共に総会へ向かって活動ができたこと、このこと自体が有難いご守護だった

と、今ではそう素直に感じます。そうしたこの3年間の実りを、また勿体無いことのないよう次の歩みにつなげて参ります。改めまして、このたび無事大きな問題もなく、本年を迎えられたのは親神様・教祖の御守護



どさんこ総会

は申すまでもございませませんが、ひとえに道内におられます皆様のおかげのことに存じます。本年、そして来期の会活動にも引き続きお力添えのほど、宜しくお願い申し上げます。

### 学生担当委員会



高橋 清彦

いつも学生会活動の上にご理解と沢山のお力添えを頂き本当にありがとうございます。

学生の皆さんは委員長さんを中心にスタッフの皆さんで力を合わせ日々頑張っています。学生会行事にどうしたら参加

して貰えるだろうか、どうしたら喜んでもらえるだろうか、どうしたら次に繋がる行事、活動になるだろうかと真剣に、時には涙を流しながらねりを重ね頑張ってくれています。

そんな姿をすぐ側で見せて頂けたり、寄り添う事が出来る立場をお与え頂いている我々学担は本当に幸せだなあと感じます。

新しく迎えたこの年も引き続き、「繋ぐ、伝える、ともに育つ」を心に置いてつとめさせて頂きます。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。



春の学生おぢばがえり

成人目標

ひながたをたどり  
陽気ぐらしの台  
となりましょう

活動方針

教祖140年祭に向かって  
育つ努力、育てる丹精に  
徹しよう

- 元なる思召を  
伝え広めよう
- 老いも若きも  
おたすけの喜びを  
味わおう

天理教婦人会

全支部合同  
『おやさとのきしん』

令和7年4月18日  
教祖誕生祭終了後14時～

教区婦人会主催

### 災害救援ひのきしん隊



三幣 敦志

去年は、災救活動の上に、ご尽力賜り心より御礼申し上げます。

昨年、元日よりの能登半島地震という大災害をお見せ頂き、全道一手一つのお願いづとめを、一日でも早い復興をお祈りいたしました。そして、5月には災救隊本部の要請により、教区长先生と共に全道より16名の隊員が出動し、復興への一助を担わせて頂きました。

また、例年になく災害が続き、北海道・東北ブロック訓練の予定を変更し、8月末、山形県への被災地出動となりました。前例にない1年間に2度の災害出動でしたが、隊員7名と共におたすけ心を胸に、被災地にて尊い汗を流すことができました。そんな折、9月半ばを過ぎた頃、再び能登半島にて大雨による大災害が発生し、多くの被害に見舞われました。我々災救隊員も、いつ何時も出動の準備を

怠らざ本部の要請を待ちました。出動には至りませんでした。

本年春季大祭本部神殿講話での表統領中田善亮先生のお話「直接の救援活動ができなくても、私たちには日々おつとめをお願いするという手立てがあります。今は現地に行けないから、おつとめで願うことしかで



能登半島地震 災害出動

きない、と言うのではありません。親神様をお願いができるということこそが、私たちの誇りであり、有難さなのであります。」とのお話しを思い起こし、更なるお願いづとめに真剣につとめさせて頂いておりま

す。また、6月の釧路市阿寒町での「道東ブロック平時訓練」に

でも、多くの隊員と共に、非常に時に備えた訓練に励みました。観光公社、消防署、社協との協賛もいただき、講習会、炊出し訓練にも多くの経験を積むことができました。

更に、11月の「白川山林整備ひのきしん」では、6名の隊員と共に親里ぢばにて尊い汗を流し、懇親をはかりました。

何より、大きな事故・怪我無く、無事に出動、そして、訓練を終えさせて頂いたこと、親神様・教祖に御礼申し上げた次第です。

真柱様は、秋季大祭のお言葉で、能登半島災害での節について、「私たちの年祭に対する取り組みが、思召にお応えするにはまだまだだと思つた」とお述べ下さいました。

私たち災救隊員は、ようぼくとして、教祖の道具衆として、ひながたを勇んで歩ませて頂いております。「三年千日の期間中は、動かして頂くことが大切であります」との真柱様のお言葉を心に、教区长先生の変わらぬご姿勢で続けられている「一手一つのお願いづとめ」に、更に

も増して真剣につとめ、一れつり、兄弟の自覚に立ち、真実をもつ

### 基礎講座



佐藤 元展

て、救援活動にあたることを教祖にお誓い申し上げ、全道の隊員の皆さまと共に、ご恩報じの道を活発に推し進め、教祖にお喜び頂けるようつとめ励ませてまいりたいと存じます。

任期中残りわずかではありませんが、本年も、変わらぬお力添えの程、何卒宜しくお願い申し上げます。

旧年中は基礎講座に、お力添えをいただき、誠に有難うございました。基礎講座では、講師のお話とビデオを通して、天理教の教えを分かりやすく、丁寧に説明させていただき、天理教のことを知っている方にも親しみやすい内容になっております。これから別席を運ぶ方には、この講座を受講することで、より一層別席のお話の理解が深まります。

また、当教区では設置当初より、『北から風を』の思いの下、



基礎講座 教務支庁会場

基礎講座をおちばへの入り口として取り組ませていただいております。現在、事務局では地方会場の開催にも力を入れて取り組んでおります。幅広い層の方に一人でも多く受講いただき、親神様・教祖の深い親心を感じ、また、天理教が目指す『陽気ぐらし』に触れていただきたいと考えています。教祖140年祭活動の上においても、にいがけ・おたすけとして、基礎講座をご活用いただけることを願っております。

### 学生会総会

教区学生会(齋藤美桜委員長)は、12月1日教務支庁にて北海道教区学生会総会を開催。41名(内学生20名)が参加した。

開会にあたり奥村教区長より挨拶をいただき、全員で一手一つに座りづとめ、よろづよ八首をつとめ、日頃活動をさせていたただける感謝とお礼をさせていただいた。

おつとめ後は、廣岡颯本部分学生会委員より来賓挨拶。続いて齋藤学生会委員長と高橋清彦学生担当委員長が挨拶をし、「総会開催に向けて悩みながらでしたが、学生会委員長を芯にス



一手一つにおつとめを

トップ全員で作り上げた本当に素晴らし総会になった。」と高橋学担当委員長が話した。

昼食後は、自己紹介やゲームで親睦を深め、最後は、庁舎ひのきしんをして閉会となった。

今後もひとりでも多くの学生にお道の教えを身近に感じてもらい、春の学生おぢばがえりやこれからの活動につながる教区学生会を誓って散会した。



### ● 毎月実施中 にをいがけ Walker 北海道

年祭活動の一助として「にをいがけ」を後押しをさせて頂きたいとの思いから、昨年9月より実施しています。

参加者は、それぞれが住む地域や今いる場所からZoomを介してオンライン上で集合し、代表者の挨拶後に、外に出て、それぞれの地域で路傍講演、神名流し、戸別訪問、リーフレット配り、12下りのおつとめ、ひのきしんなどの実動をいたします。

1時間後、再度Zoomに入室して、活動内容や感じた事などを発言していただき、終了します。

第4回目となる12月17日は、路傍講演、戸別訪問、リーフレット配り、12下りのおつとめ、ひのきしんなど7名が参加し実動しました。

初めて参加した方は、「個別の実動ではあるが、同時刻に同じ北海道内で布教活動をしている人たちがいて、一人じゃないという一体感を感じる事ができた。」とまさに、にをいがけの後押しを実感する布教実動とな

りました。

一人での実動でも前向きにできるような力をもちたいことが出来ます。年祭活動3年目となる今年のにをいがけの一助として参加してみませんか。

※詳細などは教区布教部まで。



実動後の Zoom 画面

### 白川整備ひのきしん 災救隊

災救隊(三幣敦志隊長)は、11月26日・27日の両日、おぢばでの白川山林整備ひのきしんに参加した。

6月と11月の年2回実施して全教区が2年間に1度ひのきしんの担当となる。

今年には能登半島地震の災害出動と日にちが重なった事から、11月の実施となり、6月参

加予定だった教区隊も加わり26教区隊123名が集まり、北海道教区隊からは担当支部隊の6名が参加した。

26日は、強い雨の中、カッパを着て、背丈にまで伸びた雑草を刈払い機を使用して白川グラウンド周辺や道路脇などの草刈りを行った。



刈払い機で



解隊式

福祉募金

福祉厚生部

福祉厚生部(五十嵐仁部長)は、12月10日、令和6年度の教区福祉募金寄付活動として、十勝支部管内清水町の小規模多機能型居宅介護事業所「さくらさ



佐々木氏(左)事務局長(右)

くら」へ、ノンバックブレーキ付1台とワンハンドブレーキ付1台の車イス2台を、十勝支部・佐々木正己福祉部長が施設に届向し、事業所へ寄贈した。

(1/9 更新)

ふせこみひのきしん

教務支庁にて毎月29日

11月29日、各会ロビー、廊下、階段、トイレ掃除と大小会議室、神殿掃除を行い、13名が参加。また12月26日は、本部月次祭遥拝式後に、神殿のすす払い、御簾、扉格子、畳の掃除など殿内の掃除を中心に23名が参加くださいました。ありがとうございました。



神饌場掃除



神殿掃除



トイレ掃除

※今後の予定や詳細はこちらのQRコードから



◆やまびこ会のご案内◆

布教を志す者の会として、にをいがけ活動を中心に実施しています。どなたでもご参加いただけます。

次回は、1月16日13時30分、教務支庁集合

※毎月16日を固定日として実施

北海道教務支庁日誌抄

12月1日 教区祭実行委員会議

少年会会議

編集会議

青年会 Meets!

2日 一手一つお願いづとめ

支部長会議

地方委員(予算)会議

4日 札幌中南支部例会

7日 札幌4支部青年会親睦会

21日 会計部会議

23日 教区長帰本

25日 教区長会議

26日 本部月次祭遥拝式

27日 教務支庁ふせこみひのきしん

御用納め

計報

立教一八七年・令和6年

佐藤 武義様 10月21日出直(93歳)

下佐呂間分教会前会長(網走支部)

菅井 義雄様 11月1日出直(96歳)

名真実分教会前会長(南空知支部)

西村 ツえ様 11月21日出直(95歳)

北滝の川分教会前会長夫人(空知支部)

葛西 隆行様 12月6日出直(63歳)

本北分教会前会長(渡島支部)

前川 勲様 12月8日出直(83歳)

芭露分教会前会長(紋別支部)

高橋修一郎様 12月15日出直(55歳)

北開分教会前会長(函館支部)

けいじばん

法律に関する諸問題でご相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁書記・渡部までご連絡下さい。

◎毎月26日に本部月次祭遥拝式を午前10時より行っています。

◎ホームページでは、教区報に未掲載の記事や投稿いただいた記事も随時掲載しています。また記事の投稿もよろしくお願

い致します。

●休刊のお知らせ●

2月の北海道教区報は休ませさせていただきます。

2月の北海道教区報は休ませさせていただきます。

2月の北海道教区報は休ませさせていただきます。

2月の北海道教区報は休ませさせていただきます。

2月の北海道教区報は休ませさせていただきます。

2月の北海道教区報は休ませさせていただきます。

2月の北海道教区報は休ませさせていただきます。

2月の北海道教区報は休ませさせていただきます。